

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成21年8月6日(2009.8.6)

【公表番号】特表2006-516143(P2006-516143A)

【公表日】平成18年6月22日(2006.6.22)

【年通号数】公開・登録公報2006-024

【出願番号】特願2004-563827(P2004-563827)

【国際特許分類】

C 0 7 C 311/21 (2006.01)  
C 0 7 D 209/22 (2006.01)  
C 0 7 D 307/91 (2006.01)  
C 0 7 D 295/18 (2006.01)  
C 0 7 D 213/71 (2006.01)  
C 0 7 D 215/36 (2006.01)  
C 0 7 D 333/34 (2006.01)  
C 0 7 D 333/62 (2006.01)  
C 0 7 D 233/84 (2006.01)  
C 0 7 D 209/26 (2006.01)  
C 0 7 D 243/18 (2006.01)  
C 0 7 D 257/04 (2006.01)  
A 6 1 K 31/192 (2006.01)  
A 6 1 K 31/343 (2006.01)  
A 6 1 K 31/18 (2006.01)  
A 6 1 K 31/216 (2006.01)  
A 6 1 K 31/5375 (2006.01)  
A 6 1 K 31/277 (2006.01)  
A 6 1 K 31/44 (2006.01)  
A 6 1 K 31/47 (2006.01)  
A 6 1 K 31/381 (2006.01)  
A 6 1 K 31/4164 (2006.01)  
A 6 1 K 31/405 (2006.01)  
A 6 1 K 31/5513 (2006.01)  
A 6 1 K 31/41 (2006.01)  
A 6 1 P 11/06 (2006.01)  
A 6 1 P 27/16 (2006.01)  
A 6 1 P 37/08 (2006.01)  
A 6 1 P 17/00 (2006.01)  
A 6 1 P 17/06 (2006.01)  
A 6 1 P 31/04 (2006.01)  
A 6 1 P 37/02 (2006.01)  
A 6 1 P 3/10 (2006.01)  
A 6 1 P 29/00 (2006.01)  
A 6 1 P 25/00 (2006.01)  
A 6 1 P 9/10 (2006.01)  
A 6 1 P 37/06 (2006.01)  
A 6 1 P 1/04 (2006.01)  
A 6 1 P 35/00 (2006.01)  
A 6 1 P 31/12 (2006.01)  
A 6 1 P 7/02 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)  
 A 6 1 P 25/04 (2006.01)  
 A 6 1 P 27/02 (2006.01)  
 A 6 1 K 45/00 (2006.01)  
 A 6 1 P 43/00 (2006.01)  
 C 0 7 C 311/08 (2006.01)

## 【 F I 】

C 0 7 C 311/21  
 C 0 7 D 209/22 C S P  
 C 0 7 D 307/91  
 C 0 7 D 295/18 Z  
 C 0 7 D 213/71  
 C 0 7 D 215/36  
 C 0 7 D 333/34  
 C 0 7 D 333/62  
 C 0 7 D 233/84  
 C 0 7 D 209/26  
 C 0 7 D 243/18  
 C 0 7 D 257/04 B  
 A 6 1 K 31/192  
 A 6 1 K 31/343  
 A 6 1 K 31/18  
 A 6 1 K 31/216  
 A 6 1 K 31/5375  
 A 6 1 K 31/277  
 A 6 1 K 31/44  
 A 6 1 K 31/47  
 A 6 1 K 31/381  
 A 6 1 K 31/4164  
 A 6 1 K 31/405  
 A 6 1 K 31/5513  
 A 6 1 K 31/41  
 A 6 1 P 11/06  
 A 6 1 P 27/16  
 A 6 1 P 37/08  
 A 6 1 P 17/00  
 A 6 1 P 17/06  
 A 6 1 P 31/04  
 A 6 1 P 37/02  
 A 6 1 P 3/10  
 A 6 1 P 29/00 1 0 1  
 A 6 1 P 25/00  
 A 6 1 P 9/10 1 0 1  
 A 6 1 P 37/06  
 A 6 1 P 1/04  
 A 6 1 P 35/00  
 A 6 1 P 31/12  
 A 6 1 P 7/02  
 A 6 1 P 11/00  
 A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 25/04  
 A 6 1 P 27/02  
 A 6 1 K 45/00  
 A 6 1 P 43/00 1 1 1  
 C 0 7 C 311/08

## 【手続補正書】

【提出日】平成21年6月19日(2009.6.19)

## 【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

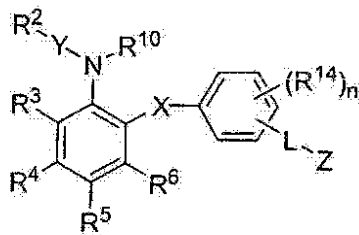
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式(XVI)：

【化1】



XVI

[式中、

Yは、 $-S(O)_2-$ であり；Xは、 $-O-$ であり； $R^2$ は、置換されているか又は置換されていないベンゼン環であり；

$R^3$ 及び $R^5$ は、独立して、水素、ハロゲン、 $(C_1-C_8)$ アルキル、フルオロ $(C_1-C_4)$ アルキル、ヘテロ $(C_2-C_8)$ アルキル、アリール、ヘテロアリール、アリール $(C_1-C_4)$ アルキル、 $-NR'R''$ 、 $-OR'$ 、 $-NO_2$ 、 $-CN$ 、 $-C(O)R'$ 、 $-CO_2R'$ 、 $-C(O)NR'R''$ 、 $-(C_1-C_4)$ アルキレン $-C(O)NR'R''$ 、 $-S(O)_mR'$ 、 $-S(O)_kNR'R''$ 、 $-OC(O)OR'$ 、 $-OC(O)R'$ 、 $-OC(O)NR'R''$ 、 $-N(R''')C(O)NR'R''$ 、 $-N(R'')C(O)R'$ 及び $-N(R'')C(O)OR'$ からなる群から選択され；

 $R^4$ は、 $-C(O)NR^{12}R^{13}$ 及び $-NHC(O)-$ アルキルからなる群から選択され；

$R^6$ は、水素、ハロゲン、 $(C_1-C_8)$ アルキル、フルオロ $(C_1-C_4)$ アルキル、ヘテロ $(C_2-C_8)$ アルキル、アリール、ヘテロアリール、アリール $(C_1-C_4)$ アルキル、 $-NR'R''$ 、 $-NO_2$ 、 $-CN$ 、 $-C(O)R'$ 、 $-CO_2R'$ 、 $-C(O)NR'R''$ 、 $-(C_1-C_4)$ アルキレン $-C(O)NR'R''$ 、 $-S(O)_mR'$ 、 $-S(O)_kNR'R''$ 、 $-OC(O)OR'$ 、 $-OC(O)R'$ 、 $-OC(O)NR'R''$ 、 $-N(R''')C(O)NR'R''$ 、 $-N(R'')C(O)R'$ 及び $-N(R'')C(O)OR'$ からなる群から選択され；

$R^{10}$ は、水素、 $(C_1-C_8)$ アルキル、フルオロ $(C_1-C_4)$ アルキル、ヘテロ $(C_2-C_8)$ アルキル、アリール、ヘテロアリール、アリール $(C_1-C_4)$ アルキル、 $-C(O)R'$ 、 $-CO_2R'$ 、 $-C(O)NR'R''$ 、 $-S(O)_mR'$ 及び $-S(O)_kNR'R''$ からなる群から選択され；

Lは、単結合、 $(C_1-C_6)$ アルキレン及び $(C_2-C_4)$ ヘテロアルキレンからなる群から選択される二価結合であり；

Zは、 $-CO_2R^{12}$ であり；

$R^{12}$ 及び $R^{13}$ は、独立して、水素、 $(C_1-C_8)$ アルキル、ヘテロ $(C_2-C_8)$ アルキル、アリール、アリール $(C_1-C_4)$ アルキル及びヘテロアリールからなる群から選択され；

各 $R^{14}$ は、独立して、ハロゲン、 $(C_1-C_8)$ アルキル、フルオロ $(C_1-C_4)$ アルキル、 $-OR'$ 、 $-NR'R''$ 、 $-NO_2$ 、 $-CN$ 、 $-C(O)R'$ 及びアリールからなる群から選択され；

各R'、R''及びR'''は、独立して、水素、(C<sub>1</sub>-C<sub>6</sub>)アルキル、シクロ(C<sub>3</sub>-C<sub>8</sub>)アルキル、アリール及びアリール(C<sub>1</sub>-C<sub>4</sub>)アルキルからなる群から選択され；

各下付文字kは、独立して、0、1又は2であり；

各下付文字mは、独立して、0、1、2又は3であり；

及び

下付文字nは、0、1、2、3又は4である]

で表される化合物又はその製薬上許容される塩若しくはプロドラッグ。

【請求項2】

R<sup>6</sup>が、水素、ハロゲン、(C<sub>1</sub>-C<sub>8</sub>)アルキル、フルオロ(C<sub>1</sub>-C<sub>4</sub>)アルキル、アリール、ヘテロアリール、アリール(C<sub>1</sub>-C<sub>4</sub>)アルキル、-NR'R''、-NO<sub>2</sub>、-CN、-C(O)R'、-CO<sub>2</sub>R'、-C(O)NR'R''、-(C<sub>1</sub>-C<sub>4</sub>)アルキレン-C(O)NR'R''、-OC(O)OR'、-OC(O)R'、-OC(O)NR'R''、-N(R''')C(O)NR'R''、-N(R'')C(O)R'及び-N(R'')C(O)OR'からなる群から選択される、請求項1に記載の化合物。

【請求項3】

R<sup>4</sup>が-NHC(O)-シクロ(C<sub>5</sub>-C<sub>7</sub>)アルキルである、請求項1に記載の化合物。

【請求項4】

R<sup>2</sup>が置換されているベンゼン環であり、ベンゼン環上の少なくとも1つの置換基が、ハロゲン、-OCF<sub>3</sub>、-OCH<sub>3</sub>、-(C<sub>1</sub>-C<sub>5</sub>)アルキル、-CN及び-NO<sub>2</sub>からなる群から選択される、請求項1に記載の化合物。

【請求項5】

R<sup>2</sup>が、少なくとも1つのハロゲンで置換されているベンゼン環である、請求項4に記載の化合物。

【請求項6】

R<sup>2</sup>が、少なくとも1つの塩素で置換されているベンゼン環である、請求項5に記載の化合物。

【請求項7】

R<sup>4</sup>が-C(O)NH-(C<sub>1</sub>-C<sub>4</sub>)アルキルである、請求項1に記載の化合物。

【請求項8】

R<sup>6</sup>が、水素、ハロゲン、(C<sub>1</sub>-C<sub>8</sub>)アルキル、フルオロ(C<sub>1</sub>-C<sub>4</sub>)アルキル、-NO<sub>2</sub>、-CN、-C(O)R'、-CO<sub>2</sub>R'、-C(O)NR'R''、-(C<sub>1</sub>-C<sub>4</sub>)アルキレン-C(O)NR'R''、-N(R''')C(O)NR'R''、-N(R'')C(O)R'及び-N(R'')C(O)OR'からなる群から選択される、請求項7に記載の化合物。

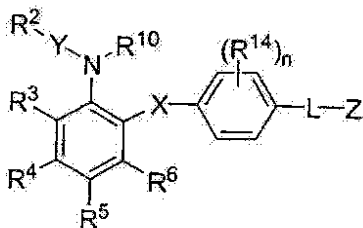
【請求項9】

R<sup>2</sup>が置換されているベンゼン環であり、ベンゼン環上の少なくとも1つの置換基が、ハロゲン、-OCF<sub>3</sub>、-OCH<sub>3</sub>、-(C<sub>1</sub>-C<sub>5</sub>)アルキル、-CN及び-NO<sub>2</sub>からなる群から選択される、請求項8に記載の化合物。

【請求項10】

式(XVII)：

【化2】



XVII

で表される請求項1に記載の化合物又はその製薬上許容される塩若しくはプロドラッグ。

【請求項11】

R<sup>10</sup>が水素である、請求項10に記載の化合物。

【請求項12】

$R^4$ が $-C(O)NH-(C_1-C_4)$ アルキルであり、 $R^6$ が水素である、請求項1 1に記載の化合物。

【請求項 1 3】

$R^2$ が、1個、2個又は3個の塩素原子で置換されているベンゼン環である、請求項1 2に記載の化合物。

【請求項 1 4】

-L-Zが、一緒になって、 $-CH_2COOH$ である、請求項1 0に記載の化合物。

【請求項 1 5】

下付文字nが、1又は2である、請求項1 4に記載の化合物。

【請求項 1 6】

$R^{14}$ が、 $-OCH_2CH_3$ 又は $-OCH_3$ である、請求項1 5に記載の化合物。

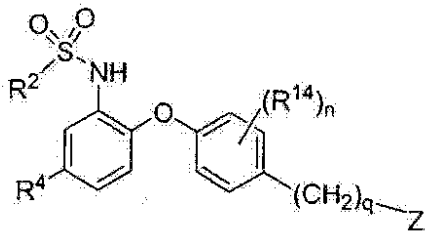
【請求項 1 7】

$R^3$ 、 $R^5$ 及び $R^6$ が、それぞれ水素である、請求項1 0に記載の化合物。

【請求項 1 8】

式(XVIII)：

【化 3】



XVIII

[式中、

$R^4$ は、 $-C(O)NH-(C_1-C_4)$ アルキルであり；

及び

下付文字qは、0、1、2、3、4、5又は6である]

で表される請求項 1 に記載の化合物又はその製薬上許容される塩若しくはプロドラッグ。

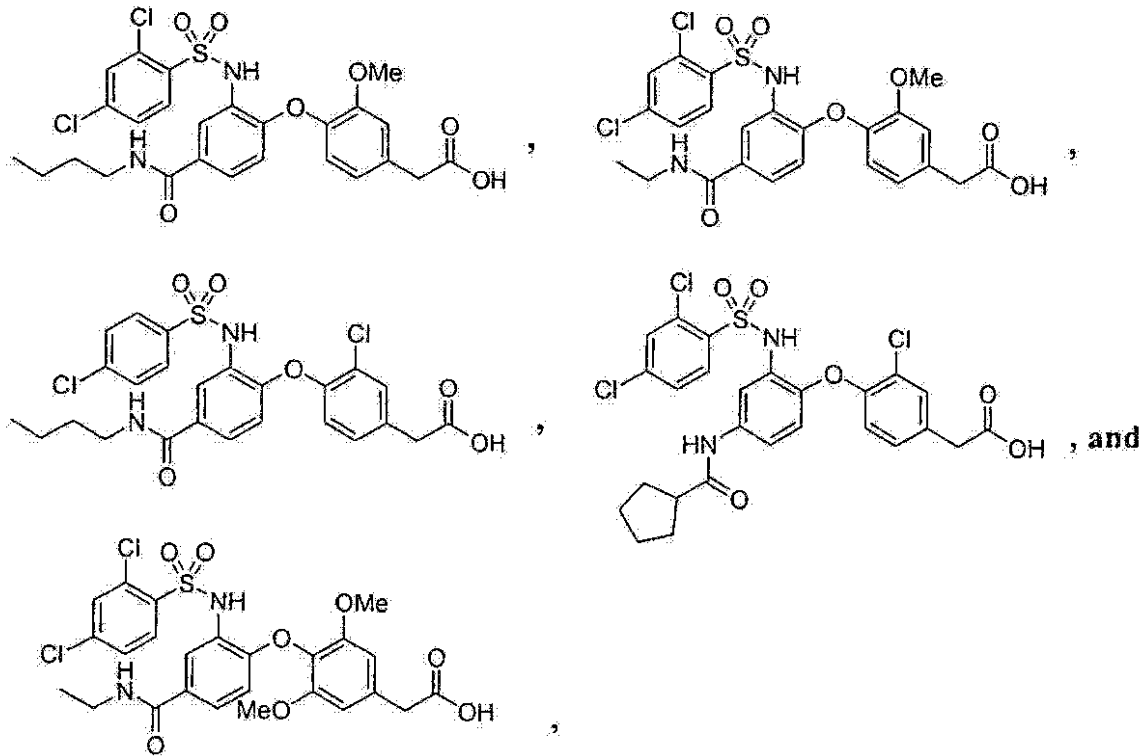
【請求項 1 9】

各 $R^{14}$ が、独立して、 $(C_1-C_6)$ アルキル、ハロゲン、フルオロ $(C_1-C_4)$ アルキル、 $-C(O)R'$ 、アリール及び $-OR'$ からなる群から選択され、下付文字nが、2又は3である、請求項1 8に記載の化合物。

【請求項 2 0】

前記式が：

## 【化 4】



からなる群から選択される、請求項 1 に記載の化合物又はその製薬上許容される塩又はプロドラッグ。

## 【請求項 2 1】

請求項 2 0 に記載されている化合物の製薬上許容される塩又はプロドラッグ。

## 【請求項 2 2】

製薬上許容される担体又は賦形剤及び請求項 1 に記載の化合物を含有している医薬組成物。

## 【請求項 2 3】

製薬上許容される担体又は賦形剤及び請求項 2 0 に記載の化合物を含有している医薬組成物。